

消化器内科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年12月22日制定。平成29年2月28日一部改正。文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 脈管侵襲を伴う切除不能進行肝細胞癌に対する局所放射線治療と分子標的治療薬を用いた集学的治療に関する予後や奏効についての後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 大浦杏子 消化器内科 助教

[研究の目的]

肝細胞癌を持ち放射線治療を行った患者さんに対して、更には、化学療法を併用した場合や分子標的治療薬を使用した場合について、予後や治療効果を調査することで肝細胞癌の治療法の向上に役立てるため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、平成21年1月1日から平成30年12月31日の間に、当院の消化器内科に通院・入院された方で3次元原体照射法による局所放射線治療を受けられた方

○利用する診療情報

診断名、病期、成因、年齢、性別、身体所見、血液検査結果(Child-Pughスコア、肝障害度、ALBIスコア、腫瘍マーカー)、画像検査結果(腫瘍数、腫瘍径、腫瘍の肉眼型、腫瘍の局在)、併用療法の有無、全生存期間、腫瘍制御率及び奏効率、副作用の有無

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 消化器内科 大浦杏子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器内科 担当医師 大浦杏子

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2158